

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		魅力ある商店街育成支援					所管	文化産業観光部 産業振興課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	167	計画事業名	魅力ある商店街育成支援			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 活力にあふれ多彩な魅力が輝くまちの実現 [施策] 36 商店街振興による魅力ある地域づくりの推進					[事業開始] 平成 1 1 年度 [終了予定] - 年度			
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕			台東区商店街振興事業実施要綱、台東区商店街振興事業補助金交付要綱				
	事業対象	直接の対象 : 台東区商店街の届出に関する取扱要綱に定める商店街名簿に登録された商店街 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	地域に貢献し、今後の商店街活性化のモデルとなるような、新時代に対応した商店街の自主的かつ意欲的で独自性のある企画・提案や、講演会・研修会等の活動に対し経費の一部を補助することにより、活性化を図る。								
	事業内容 [H30年度]	①新時代に対応した独自性のある事業(空き店舗活用、新商品開発、IT拠点整備、エコマネー導入など) ②商店街が自主的に行う講演会・研修会等の活動 ・補助率: 1/2(東京都の補助対象となった場合は区と都を合わせて2/3以内) ・限度額: ①1000万円(区・都それぞれの限度額) ②講演会 任意30万円 法人40万円 複数60万円(区・都それぞれの限度額)								
	委託の有無	なし	委託内容			なし				
補助金の有無	都									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	助成件数	件	5	2	3	5	3	166.7%	
	成果指標	講演会・研修会等参加者数	人	50	-	-	-	-	-	
	決算額 (単位: 千円)				H28年度	H29年度	H30年度			
	事務事業コスト (単位: 千円)	人にかかるコスト(人件費など)				1,203	2,933	5,731		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				0	0	0		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				738	1,771	3,662		
		総経費				1,941	4,704	9,393		
	財源項目 (単位: 千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				369	636	1,831			
	一般財源(区負担額)				1,572	4,068	7,562			
課題及び今後の進め方	自由度の高い事業であるため、商店街の行う自主的・意欲的・独自性ある企画が、一過性の取り組みで終わること無く着実な効果に結びつくよう指導・助言を行う必要がある。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	商店街からのニーズが増加している。また、先駆的な取り組みを行う商店街事業を支援することは、更なる商店街活性化を図るために必要な事業である。							
	効率性	3	商店街が行う事業に対し、その事業経費の全額を補助するのではなく、一部を補助することによって、商店街の自主性を損なわず、最小限の経費で支援を実施できている。							
	手段の適切性	3	補助事業の選定にあたっては、学識経験者・有識者・中小企業診断士等から構成される審査会で審査したうえでやっている。また、商店街により事業内容が大きく異なるため、計画から実施に至るまで適宜指導・助言を行い、効果的な事業実施を図っている。							
目的達成度	3	助成件数が目標に達し、商店街の自主的・意欲的・独自性のある企画・提案等に対する補助メニューとして、商店街振興に十分に資するものとなっている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
商店街が抱える課題に対応した独自性ある事業に対する補助制度であり、商店街の更なる活性化のために必要な事業である。適切かつ効率的に実施されており、目標達成率も高い。引き続き、東京都と連携しながら事業を維持していく。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		